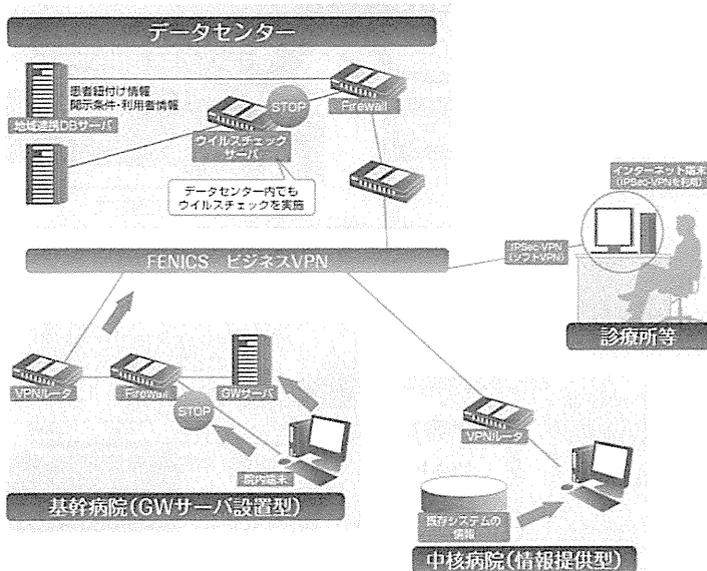
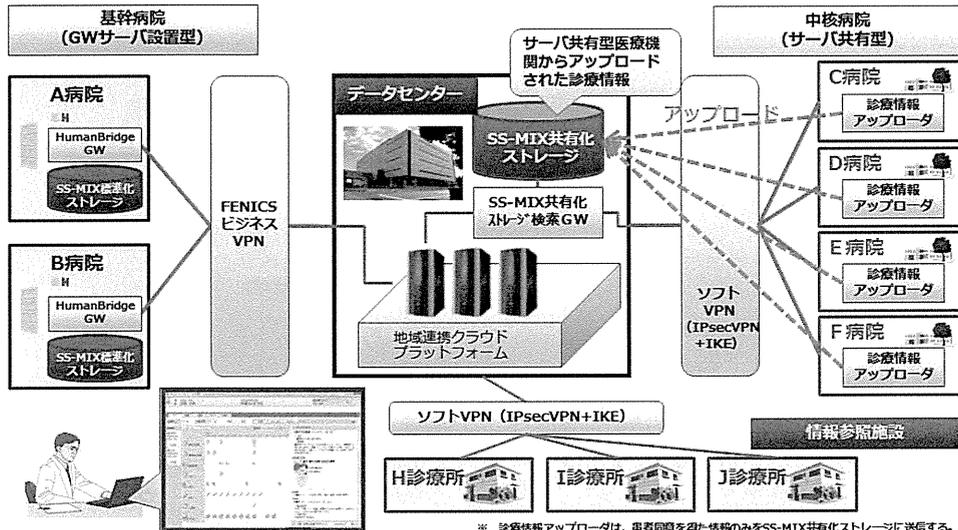


安全な接続経路



患者情報共有システムの全体図

各医療機関に分散している患者の診療情報を、阪神医療圏内のネットワークに参加する全ての医療機関で共有する仕組み。



HumanBridge ポータルサイト

地域で共通のポータルサイトより個別ID等でログインすることで、診療情報参照やグループウェア機能をシングルサインオンで（別々にログインすることなく）ご利用できる。また、このポータルサイトは地域で新しいサービスを追加する際の入り口として活用できる。

<HumanBridgeポータル画面>

将来的に様々な新規サービスを追加できます。

- 診療情報参照
- 地域連携バス
- 介護情報
- 健診情報
- Web会議
- グループウェア機能

診療情報共有機能

各医療機関に分散している診療情報を、一画面上に集約して時系列で表示できる。各アイコンをクリックするだけで、見たい診療情報の詳細を簡単に参照することができる。

各情報提供病院の記録一覧

ワンクリック

診療所・在宅医療・介護施設入力情報

記載内容詳細

入院までの経過 2010/03/03 小松 圭介

<主訴>
1週間前から便に血が混ざる
<現病歴>
排便後でオシグルコン2.5mg内服コントロール中、1週間前から便に血が混ざり、痔瘻クリニックより大腸がんの疑いで紹介。当院内科受診。大腸ファイバを全下行結腸がんと診断。外科に手術目的で紹介。

OBJECTIVE
シグマ 腫脹、腸腔内狭窄 前壁側大腸癌

BLAN
大腸癌バスター10手術。家族へ病状・検査・手術の説明。

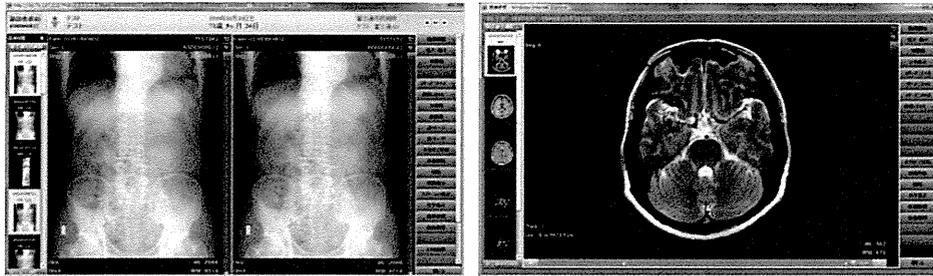
BLAN

この中で大腸癌
外来で大腸ファイバ受検。肉眼的には右の結腸がん。生検でG group V、SMからSS癌と診断される。
<治療方針>
手術目的で外科紹介。

文書 医師の記録(7/2/15-1) 2010/03/03 頁:6/1

画像ビューア

基幹病院（GWサーバ設置型）で撮影された画像の比較参照、計測、シネ表示など読影時に必要な機能を搭載している。本画像機能はPACSの技術により、高機能・高品質を実現しており、情報提供医療機関側のPACSのベンダーに関わらず同一の操作性で画像を参照できる。



過去撮影画像や他院撮影画像を比較参照できます。

画像計測やシネ表示が可能です。

内視鏡画像や超音波画像の参照も可能です。

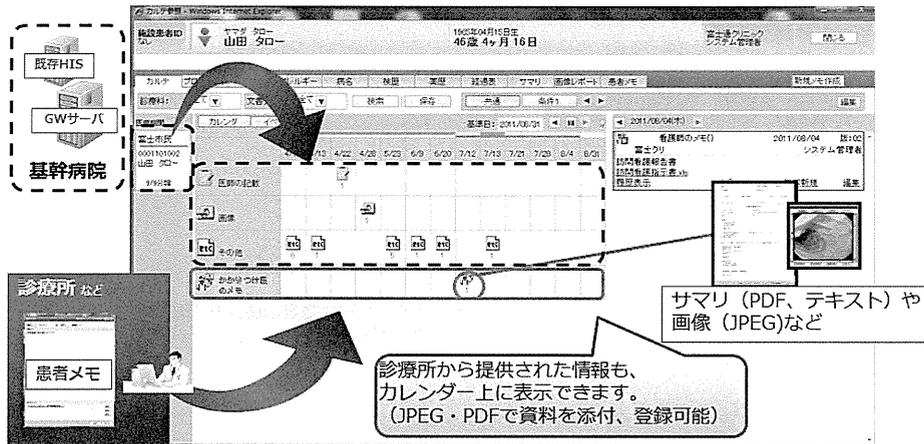


23

患者メモ機能

患者メモ機能をご利用いただくことにより、診療所においても参照だけでなく、地域で共有したい情報をネットワーク上に登録し、公開することができる。

（この患者メモの機能は、将来的に診療所のみならず、調剤薬局、訪問看護ステーションなど、多職種に広げて活用することも可能）



24

基幹病院の同意患者数と紹介元施設数

基幹病院	項目	1. 紹介患者		2. 照会		3. 逆照会		月数	合計
		H25年度	H26年度	H25年度	H26年度	H25年度	H26年度		
兵庫医大	同意患者数	12	22	10	31	0	0	13ヶ月	75
	紹介元施設数	11	17	7	24	0	0		59
県立尼崎	同意患者数	50	59	2	109	17	74	13ヶ月	311
	紹介元施設数	19	29	2	37	11	43		141
近畿中央	同意患者数	—	13	—	19	—	5	3ヶ月	37
	紹介元施設数	—	5	—	9	—	2		16
市立伊丹	同意患者数	—	23	—	1	—	0	1ヶ月	24
	紹介元施設数	—	1	—	1	—	0		2

地域連携パス

一方向型バス・循環型バス双方に対応しているため、様々な疾患のバス運用の実現が可能となる。
また、地域連携パスに入力されたデータはデータベースに格納され各種統計の作成や、バスの改善、
疾病分析等を行うこともできる。

地域連携バス一覧画面

地域連携バス

1 該当件数は 53 件です。

運送	チェック	状態	フェーズ	患者ID	患者氏名	性別	年齢	地域連携バス	入力予定日
●	10日経過	使途済	000001534	テスト カードリダ02	男	63	船橋基	2011/06/24	
●	13日経過	使途済	000000009	カードリダ カンジャ	男	31	船橋基	2011/06/21	
●	68日経過	結算	000000009	テスト カンジャ	女	75	船橋中バス	2011/03/20	
●	07日経過	リハビリ	000000009	カードリダ カンジャ	男	31	船橋中バス	2011/04/27	
●	01日経過	リハビリ	000000009	カードリダ カンジャ	男	31	船橋中バス	2011/03/14	

一覧から入力画面を起動

27

地域連携バス入力画面

地域連携バス

1 該当件数は 53 件です。

患者ID: ヤマダ タロー (0001101002) | 1965年04月15日生 | 46歳 1ヶ月 19日

患者氏名: 山田 タロー

バス名: 船橋中バス | フェーズ: 1通 | 1ヶ月

管理区域: 富士通大和東野 | 富士通大和東野 | 富士通大和東野 | 富士通大和東野

担当者: 地域連携室01 | 地域連携室01 | 地域連携室01 | 地域連携室01

入力予定日: 設定なし | 設定なし | 2011/06/03 (残2日) | 2011/06/03 (残2日)

バス入力: 入力済 | 入力済 | 入力済 | 入力済

バス入力: 入力済 | 入力済 | 入力済 | 入力済

バスのフェーズ毎の「バス入力予定日」「入力予定日の超過」を表示しています。

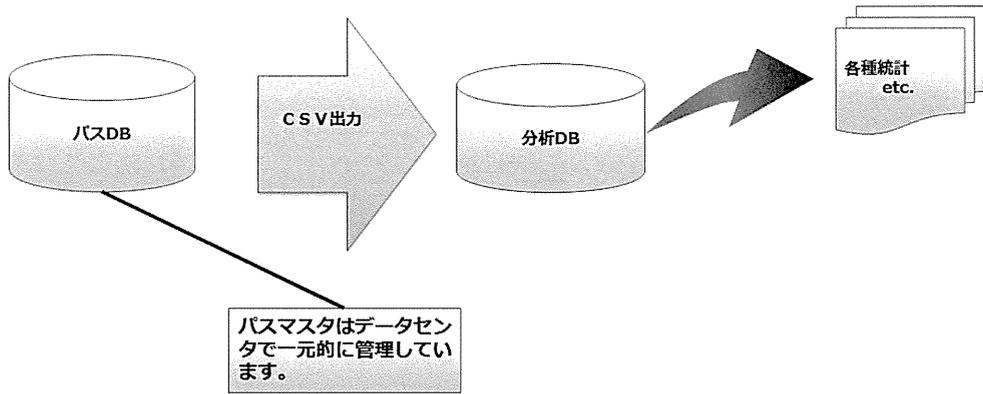
28

地域連携パスファイルに到達目標等入力

入力画面から
パスファイルを起動

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	船中地域連携パス																
2	○X連携	乗客ID	乗客名	種	生治区	発生											
3																	
4																	
5	各ステップ	開始・終了の予定日	開始	終了	開始												
6			yyyy/mm/dd														
7																	
8	1. 本人	経路が変更し、リハが必要															
9		経路が変更し、リハが必要															
10	2. AIC	駅間に乗車できる各種AICも確認する															
11		駅間に乗車できる各種AICも確認する															
12	3. 移動	駅間を移動できる															
13		駅間を移動できる															
14	4. 右側	右側が予定している(右側)															
15		右側が予定している(右側)															
16	5. 乗車計画	乗車計画の種別をいい、駅間に乗車できる乗車計画がある															
17		乗車計画の種別をいい、駅間に乗車できる乗車計画がある															
18	6. 経路変更	経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
19		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
20		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
21		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
22		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
23		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
24		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
25		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
26		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
27		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
28		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
29		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
30		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
31		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
32		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
33		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
34		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
35		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
36		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
37		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
38		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
39		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
40		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
41		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
42		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
43		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
44		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
45		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
46		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
47		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
48		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
49		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
50		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
51		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
52		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
53		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
54		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
55		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
56		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
57		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
58		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
59		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
60		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
61		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
62		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
63		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
64		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
65		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
66		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
67		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
68		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
69		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															
70		経路変更の経路をいい、駅間に乗車できる															

パスDBから分析へ



はんしん h-Anshin むこねっと

2次救急システムの概要

31

② 二次救急システム ～リアルタイムな救急医療情報の提供～

近隣で効果を上げ、実績のある神戸市第2次救急病院協議会と同等のシステム

医療機関における入力の手間を極力削減した、入力しやすいシステム

◆積極受け入れ表示

当番でなくても、現在積極的に受け入れが可能な科目については、積極受け入れの意思表示が可能です。

◆カレンダー参照入力

決まった曜日のシフトなどの定型の情報は、過去の入力情報を参照して入力することで、個別に入力設定をする必要がありません。

◆一時休止表示

急な手術など、一時的に受け入れが困難な状況になった場合には、受け入れ休止の設定が可能です。設定した時間になったら、自動的に復帰するため、再度の設定が不要です。

現在、兵庫県が運営している「兵庫県広域災害・救急医療情報システム」にも連動

32

32

カレンダーからの入力による先の情報の登録や、チェックするのみで入力可能な簡易な入力システム

The screenshot shows the 'Anshin Ankokonetto' emergency system interface. On the left is a calendar for February 2013, with the 13th (Wednesday) selected. The main area displays data for 2013年2月13日 (水) 15時00分のデータ. A callout box points to the calendar with the text: 'カレンダーからの予約入力/過去情報参照入力による入力の手間の削減'. Another callout box points to the '空床状況、救急車対応科目' section of the form with the text: '空床状況、救急車対応科目については必要最低限の入力項目チェックのみ'. The form includes sections for '症状状況' (Symptom Status) with checkboxes for various conditions like '男性病床空き' and '女性病床空き', and '診療科目' (Medical Department) with checkboxes for various departments like '一般内科' and '一般外科'.

33

手術など、一時的に患者受け入れが不可になった場合は、タイマー設定で一時的に受け入れ休止が可能

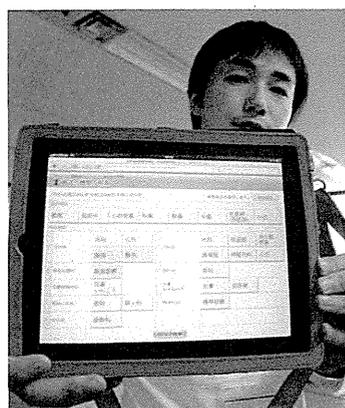
The screenshot shows the 'Anshin Ankokonetto' emergency system interface for '一時休止登録 / 解除' (Temporary Stop Registration / Release). A callout box points to the '一時休止登録' button on the main menu with the text: '簡単な設定による受け入れの一次休止'. The main screen shows a '一時休止登録' form with fields for '停止理由' (Stop Reason) and '停止時間' (Stop Time). A callout box points to the '停止時間' dropdown menu with the text: '簡単な設定による受け入れの一次休止'. The dropdown menu shows options: '30分休止 (16:30まで)', '1時間休止 (17:00まで)', '2時間休止 (18:00まで)', '3時間休止 (19:00まで)', and '5時間休止 (20:00まで)'. The '一時休止登録' button is highlighted with a red 'X' and the text '休止中' (Stop) and '16:30まで 重症処置中のため' (Until 16:30, due to severe treatment). The '一時休止解除' button is highlighted with a green checkmark and the text '一時休止解除' (Temporary Stop Release).

34

救急隊のiPadの利用



全救急車にiPad配備

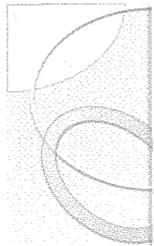


搬送先の検索に活用、搬送時間30秒短縮ケースも

尼崎市救急隊 医療機関問い合わせ4回以上データ

平成		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
24年	4回以上比率	10.9%	11.1%	9.9%	8.7%	7.1%	6.0%	5.8%	6.2%	7.1%	5.6%	7.9%	7.3%	7.8%
	4回以上件数	207	189	171	139	112	92	106	116	120	102	139	151	1644
	総搬送数	1892	1699	1732	1596	1580	1537	1832	1880	1698	1820	1761	2055	21082
25年	4回以上比率	9.9%	9.0%	9.3%	7.1%	5.5%	4.9%	4.1%	4.5%	4.2%	4.1%	4.3%	4.8%	6.0%
	4回以上件数	197	158	170	124	94	88	77	88	74	71	75	98	1316
	総搬送数	1984	1752	1825	1765	1697	1781	1878	1968	1745	1724	1763	2027	21909
26年	4回以上比率	8.6%	5.5%	5.8%	5.0%	3.5%	4.2%	3.5%	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%
	4回以上件数	163	94	114	91	61	78	71	83	0	0	0	0	755
	総搬送数	1904	1702	1976	1807	1748	1859	2005	1809	0	0	0	0	14812

h-Anshinむこねっと2次救急システム導入効果	アンケート対象者：尼崎市消防局救急隊員96名	救命救急師		計	
		救命師	非救命師		
(1) 導入以前の病院選定と比べ、その効果の有無	導入効果を感じる。	48	31	79	
	導入効果を感じない。	3	1	4	
	その他	4	4	8	
	(2) 当システム導入について、その導入効果	電話での病院問い合わせ回数が減った。	42	25	67
		現場滞在時間が短縮した。	22	13	35
		個別搬送以来の回数が減った。	31	18	49
		病院選定（検索）が楽になった。	31	17	48
		他隊と重複回数が減った。	19	7	26
	病院側の情報に信頼が持てるようになった。	8		8	
	その他	8	4	12	
	(3) 当システム導入について、その効果を感じない理由	病院問い合わせ回数は変わらない。	2	2	2
		現場滞在時間が従前とそう変わらない。	2	2	2
個別搬送依頼の回数が変わらない。				0	
病院選定（検索）が面倒になった。		2	2	2	
他隊と重複回数はそう変わっていない。		2	2	2	
病院側の情報はそう変わらない。信頼出来ない。	3	1	4		
その他	5	2	7		
(4) 尼崎市内の参加18病院の情報（診療科・ベッド数）更新	ほとんどの病院が情報を定時更新している。	22	7	29	
	ほとんどの病院が情報を定時更新していない。	6	5	11	
	半分ぐらいの病院が情報を定時更新している	17	5	22	
その他	10	13	23		
(5) 定時更新（一日2回）している尼崎市内の参加18病院のうちその数どれぐらいか	18病院すべて定時更新している。	5		5	
	15～17病院すべて定時更新している。	11	4	15	
	12～14病院すべて定時更新している。	18	7	25	
(6) 定時更新（一日2回）していない尼崎市内の参加18病院のうちその数どれぐらいか	18病院すべて定時更新していない。	1	1	2	
	15～17病院すべて定時更新していない。		1	1	
	12～14病院すべて定時更新していない。	10	6	16	



アンケート対象者：尼崎市消防局救急隊員96名

		救命救急師		計	
		救命師	非救命師		
救急車へのタブレット (iPad) 搭載について	(1) タブレット (iPad) の搭載効果の有無	搭載効果を感じる。	48	36	84
		搭載効果を感じない。	3	1	4
		その他	3	2	5
	(2) タブレット (iPad) の搭載効果の内容	救急関連情報を検索取得できる。	46	32	78
		EMISが活用できる	11	6	17
		外国人傷病者に翻訳機能ソフトが役に立つ	5	5	10
		その他	9	7	16
	(3) タブレット (iPad) の搭載効果を感じない理由	救急関連情報の検索はそう必要ではない。	2		2
		EMISの閲覧はそう必要ではない。	3	1	4
		翻訳機能ソフトはあまり期待できない。	3		3
	(4) タブレット (iPad) 入力	簡単である	46	29	75
		手間がかかる。	6	6	12
		その他	2		2
	(5) タブレット (iPad) の入力項目	適量	50	31	81
		多い	0		0
少ない		4	3	7	
システム全般	(1) 2次救システム内の情報量	適量	44	32	76
		多い	3		3
		少ない	7		7

は ん し ん
h-Anshin むこねっと

逆紹介システムの概要

③ 医療機関機能情報システム ～逆紹介のための医療機関機能情報の提供～

神戸市医師会、姫路市医師会において導入済のシステムを採用

患者様に最適な医療機関がすぐわかる、判りやすい検索機能

◆検索対象設定

各医療機関から、検索対象とするか否かを設定できます。

◆指定位置からの検索結果表示

医療機関検索結果表示は指定位置から近い順に表示。患者さんが実際に通いやすい場所での検索ができます。

◆幅広い地図機能

地図から近くの医療機関を検索、マークなどの表示も自在に設定でき、見やすく判りやすい地図で医療機関所在地を確認できます。

◆検索結果表示、詳細表示は医療機関の意思を反映

地図から近くの医療機関を検索、マークなどの表示も自在に設定でき、見やすく判りやすい地図で医療機関所在地を確認できます。

43

収集した医療機関の機能情報の検索、目的とする情報にすぐにとり着ける検索画面

住所 駅 医療機関

地図から検索 12345-02 ○○クリニック

住所・駅などの地理条件設定

検索結果機関の強調表示 病院情報による表示アイコンも自在

医療機関名	距離
○病院	南西西10m
○△△クリニック	西南西160m
○△△内科クリニック	北230m
○病院	南240m
○病院	東南250m

画面上の医療機関の一覧表示

44

システムの安全性

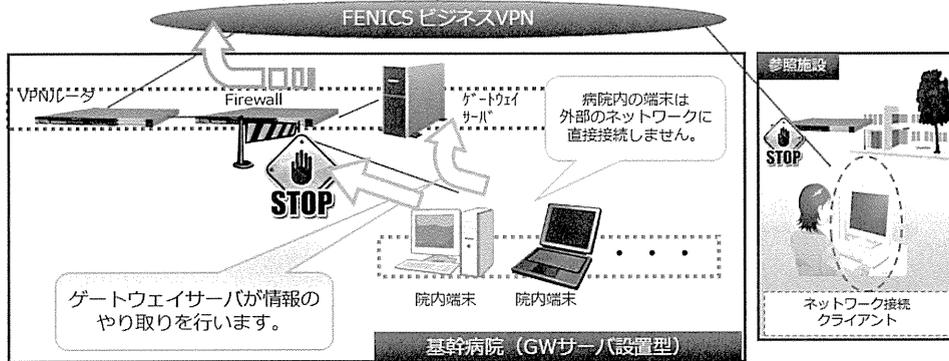
①外部に対するセキュリティ

患者情報共有システム (HumanBridge) ネットワークイメージ



基幹病院 (GWサーバ設置型) はゲートウェイサーバが富士通データセンターのサーバとやり取りをします。院内端末は直接外部へつながらないため、院内ネットワークの高セキュリティを維持します。

厚生労働省の提示する「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.1版」に準拠



ゲートウェイサーバが情報のやり取りを行います。

基幹病院 (GWサーバ設置型)

45

患者紹介機能 (診察予約)

患者紹介のタイミングで、医療機関への診察予約を行うことができます。

紹介状作成

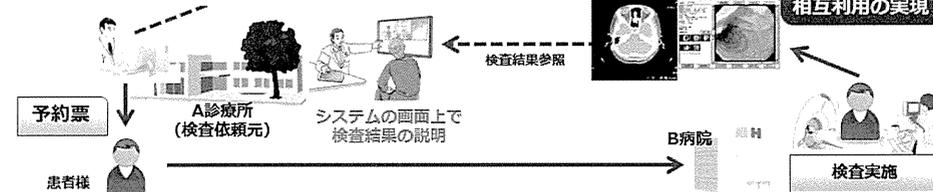
紹介状作成の画面から予約画面を呼び出し

診療予約

患者紹介機能 (検査予約)

連携先の医療機関から検査依頼先の病院側の予約状況を確認し、予約の取得が可能です。CTやMRなど高額検査機器の地域での有効活用が可能になります。

効果的な診察予約
高額医療機器の
相互利用の実現!



46

その他
～利便性と使用頻度の高い会員向けアプリの開発～

- ◆さらにグループウェア機能
 カレンダー機能（スケジュール）
- ◆簡易メッセージ機能（ToDoリスト）
- ◆文書共有機能等

→阪神間や各医師会内での情報共有機能。

各医師会オリジナル機能 等

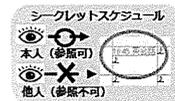
阪神7市医師会全体や、各市医師会毎に作成が可能です。

①カレンダー機能（スケジュール）

組織全体や所属のスケジュール、会員のスケジュールを一括管理することができます。



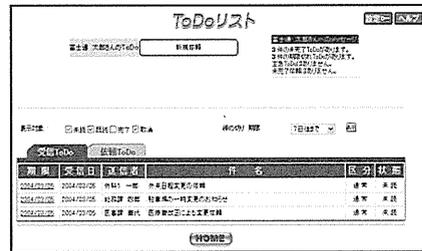
- ◆ スケジュール
 - ★ 組織全体・所歴・個人のスケジュール管理
 - ★ 週間表示と月間表示
 - ★ スケジュールの種類によって色分け表示
 - ★ シークレットスケジュール
 - ★ スケジュール管理者機能



②簡易メッセージ機能（ToDoリスト）

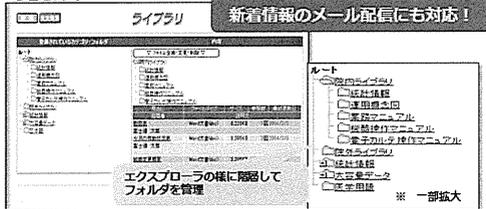
他のメンバーに作業依頼やメッセージを送信したいとき依頼先を指定して送信できます。

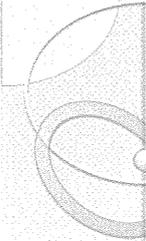
- ◆ ToDoリスト
 - ★ 簡単な依頼内容作成画面
 - ★ 受信ToDoを一覧で表示
 - ★ 未完了ToDoの通知機能
 - ★ 依頼内容を確認できる
 - ★ 管理者にアクセス権限を設定



③文書共有機能（ライブラリ）

電子化された申請書の雛型や各種資料の保存・ダウンロードが可能。個人管理になりがちな電子データを一元管理することができます。





地域包括ケアとは



地域包括ケアの定義（日常生活圏域型）

定義

生活上の安全・安心・健康を確保するために、医療・介護のみならず、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場（日常生活圏域）で適切に提供できるような地域での体制

●日常生活圏域

30分以内・中学校区

（地域包括ケア研究会報告書 平成22年3月）

地域包括ケアシステムにおける「5つの構成要素」 24年度地域包括ケア研究会

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指す「地域包括ケアシステム」

【すまいとすまい方】

●生活の基盤として必要な住まいが整備され、本人の希望にかなった住まい方が確保されていることが地域包括ケアシステムの前提。高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた住環境が必要。

【生活支援・福祉サービス】

●心身の能力の低下、経済的理由、家族関係の変化などでも尊厳ある生活が継続できるよう生活支援を行う。

●生活支援には、食事の準備など、サービス化できる支援から、近隣住民の声かけや見守りなどのインフォーマルな支援まで幅広く、担い手も多様。生活困窮者などには、福祉サービスとしての提供も。

【介護・医療・予防】

●個々人の抱える課題にあわせて「介護・リハビリテーション」「医療・看護」「保健・予防」が専門職によって提供される（有機的に連携し、一体的に提供）。ケアマネジメントに基づき、必要に応じて生活支援と一体的に提供。

【選択と心構え】

●単身・高齢者のみ世帯が主流になる中で、在宅生活の選択が常に「家族に見守られながら自宅で亡くなる」ことにはならないことについて、本人家族の理解と心構えが重要。



地域における医療及び介護の総合的な 確保の促進に関する法律（平成元年法律 第六十四号）

（平成26年6月25日）

第一章 総則（第一条・第二条）

第二章 地域における医療及び介護の総合的な確保（第三条—第十一条）

第三章 特定民間施設の整備（第十二条—第二十二条）

第四章 雑則（第二十三条）

第五章 罰則（第二十四条）

第一章 総則

（目的）

第一条 この法律は、国民の健康の保持及び福祉の増進に係る多様なサービスへの需要が増大していることに鑑み、地域における創意工夫を生かしつつ、地域において効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療及び介護の総合的な確保を促進する措置を講じ、もって高齢者をはじめとする国民の健康の保持及び福祉の増進を図り、あわせて国民が生きがいを持ち健康で安らかな生活を営むことができる地域社会の形成に資することを目的とする。

地域包括ケアシステムの構築について

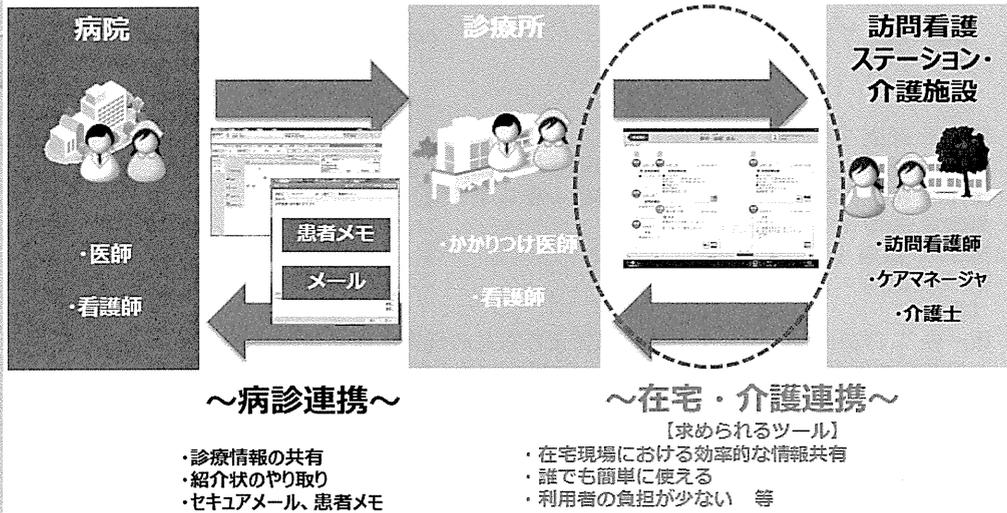
- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。

2025年の地域包括ケアシステムの姿



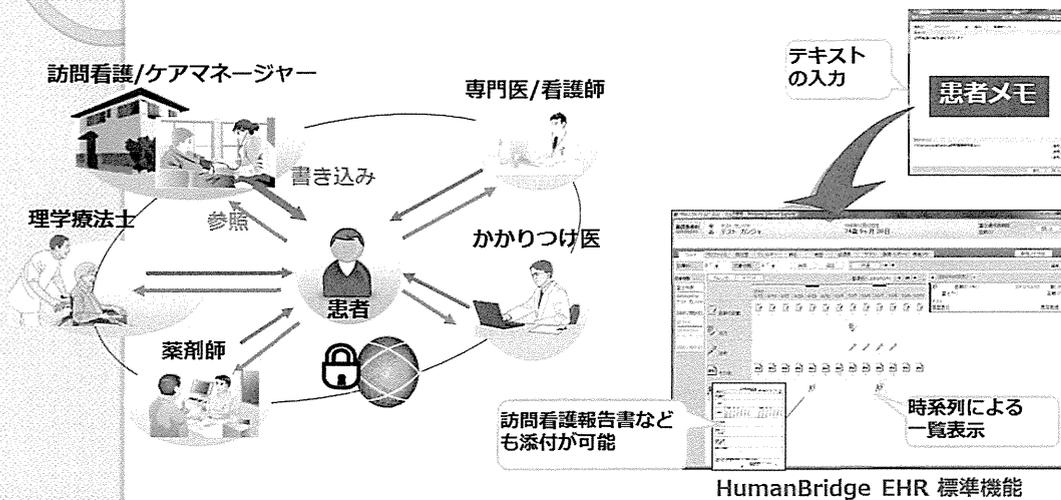
在宅医療・介護連携のイメージ

地域医療連携によって実現される診療情報の共有に加えて、在宅・介護現場の情報が一気痛感で共有される仕組みが求められる。



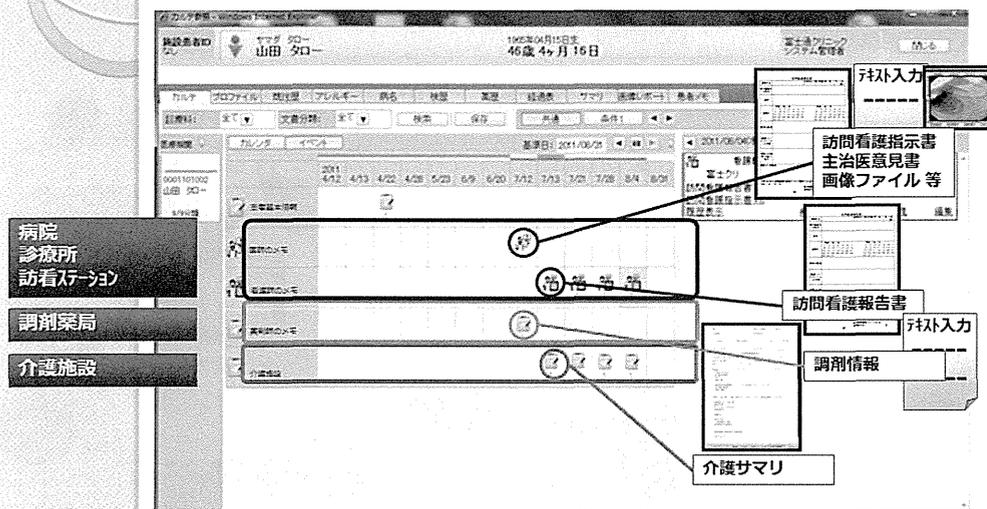
HumanBridgeEHR 標準搭載機能 <患者メモ>

HumanBridgeでは、情報提供施設以外のネットワーク利用者が、患者メモ登録することで、地域の関係者間で必要な情報を、共有することができる。登録できる内容は、テキスト入力に加えて、画像やレポート等のファイルを添付することもできる。

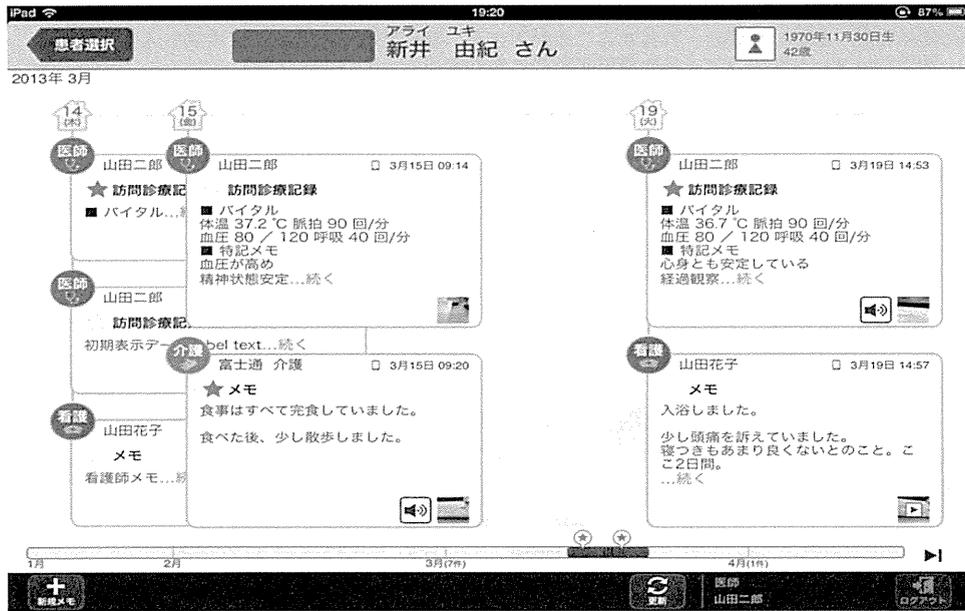


多職種間情報共有のイメージ

医療機関だけでなく、調剤薬局や訪問看護ステーションなど、多職種で情報を登録することができ、双方向の連携が可能になる。



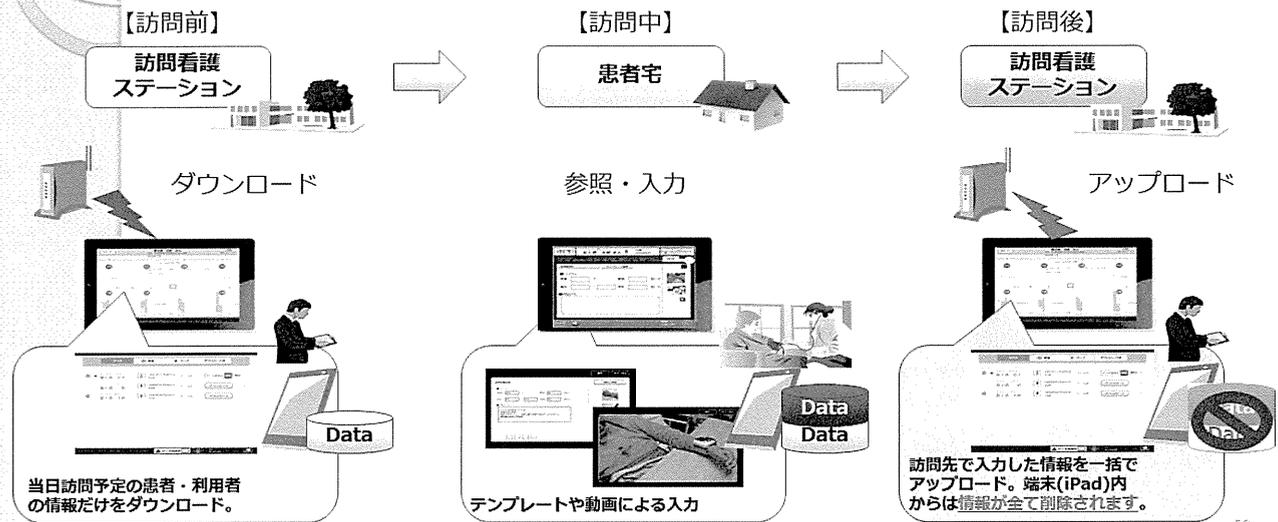
タイムライン形式のビューア



Copyright 2014 FUJITSU LIMITED 57

オフライン機能

訪問先が電波の届かない地域の場合には、訪問前にiPad端末に訪問予定の患者様の情報をダウンロードし、訪問先での参照・入力を行うことが可能。



58